

プライバシーポリシー：2024年9月9日

概要

Eyeotaはオーディエンステクノロジープラットフォームです。当社および当社のパートナーは、ご覧になる広告がお客様に関連性があるものとなるよう、データを収集・使用しています。当社のテクノロジーにより、匿名データを使用して情報とデバイスを一緒にマッピングし、個人から成るさまざまなグループとその好みについて広範にわたる実像を作り出すことが可能となります。

本プライバシーポリシーは、Eyeotaの事業内容、Eyeotaが収集するデータ、データ収集の目的、Eyeotaが保有するお客様の個人データに関するお客様の権利について説明するものです。

Eyeotaは、社内のプロセスとやり取りするデータについて透明性を保ち、個人の法的権利が尊重され、保護されるよう尽力しています。当社の業務内容と個人の法的権利についての説明は複雑であるため、ご不明な点があるかもしれません。その場合は、privacy@eyeota.comまでメールにてお問い合わせください。

当社が収集するデータはすべて、欧州のGDPRを含む各地域のプライバシー法に従って処理されます。当社は、法的要件に従ってこのページに変更を加える場合があるため、随時確認することをお勧めします。

プライバシーポリシー目次

プラットフォームデータ

Eyeotaのプラットフォームの機能とは？

Eyeotaは、匿名化されたプロフィール情報（以下「プラットフォームデータ」）を収集、整理、維持、配布するテクノロジープラットフォーム（以下「プラットフォーム」）を所有、運営しています。プラットフォームデータは、ウェブサイトパブリッシャー、モバイルアプリケーション、データブローカー、市場調査会社など、さまざまなオンラインおよびオフラインのソースから収集されます。

Eyeotaのプラットフォームの目的とは？

Eyeotaのクライアントは、Eyeotaのプラットフォームを使用することにより、以下の特定の目的でプラットフォームデータを購入、販売、配布できるようになります。

- ターゲットを絞った広告の促進
- ウェブサイトの訪問者、モバイルアプリケーションのユーザー、その他の種類のデジタルメディアの消費者が対象の、ターゲットを絞った、またはカスタマイズされた、コンテンツ配信の促進
- 広告資金によるインターネットのサポート
- データプロバイダーや広告主への集計レポートの提供
- 内部レポート、業界動向のレポート、市場調査のための集計データの使用

Eyeotaのクライアントとパートナーは、以上の目的を促進する適切なプライバシーポリシーを定めることも、契約上義務付けられています。

Eyeotaのプラットフォームに保持される情報とは？

Eyeotaのプラットフォームで処理されるプラットフォームデータの категорияには以下が含まれます。(a) ブラウザ上のCookie ID、モバイル広告ID、アドレスブルメディア識別子などの匿名情報、(b) 直接識別子が削除された、ハッシュ化したメールアドレスなどの難読化された個人情報、(c) IPアドレス、およびIPアドレスから得られる地理的位置などの情報、(d) 郵便番号ごとに集計された情報、(e) ブラウザ、デバイスの種類、オペレーティングシステム、「アプリ」の有無や使用状況、画面解像度、優先言語などのデバイスに関する情報、(f) 性別、年齢、所得範囲などの人口統計学的情報、(g) クリックまたは閲覧された広告、ウェブサイトおよびコンテンツエリア、これらのアクティビティの日時、ウェブサイトの検索や移動に使用したウェブ検索など、ウェブサイト、アプリケーション、その他の接続デバイスとのやり取りに使用した、インターネットに接続されたパソコンやデバイスの行動データ。

パートナーから当社に送信されるプラットフォームデータには、集計され匿名化されたプロフィール情報と、IPアドレス、Cookieモバイル広告IDなどのHTTPヘッダーを介して送信されるデータ、ハッシュ化されたメールアドレス、日時、URL、オペレーティングシステム、ブラウザのバージョンが含まれます。

特定のパソコンとモバイルデバイスが同じユーザーや世帯に属していると合理的に推測できる場合、当社は、プラットフォームデータを活用する目的で、それらのブラウザおよび/またはデバイスがリンクされていると見なすことがあります。このプロセスは、デバイスグラフと呼ばれることもあります。また、郵便番号から集計データを取得するヒューリスティックなオンボーディング手法により、プラットフォームデータを強化する場合があります。

匿名化されたプロフィール情報は集計され、関心データ (スポーツ、ニュース、ファッション、および関連するサブカテゴリーなどへの関心)、人口統計データ (年齢、性別、雇用業種、所得層など)、購買意向データ (電子機器、金融商品、オンラインファッションなどの購買意欲) のカテゴリーに分類されるオーディエンスセグメントに編成されます。

Eyeotaのプラットフォームは、氏名、メールアドレス、住所などの識別可能な個人データや、社会保障番号などの機密個人データを収集するようには設計されていません。さらに、当社のクライアントやパートナー企業が個人を直接特定できるデータをEyeotaに移転することは、契約上禁止されています。当社は、機密性が高いと見なされるデータを意図的に収集することはありませんが、法域によって機密性が高いと見なされるものの定義が異なる場合があることを認識しています。

EU域内では、機密性の高い個人データ (一般データ保護規則 (GDPR) 第9条1項で定義される「特別カテゴリーのデータ」) に以下が含まれます。

- 人種的または民族的出自
- 政治的意見
- 宗教的または哲学的信条
- 労働組合への加入の有無

- 遺伝子情報や生体認証情報
- 個人の健康情報
- 個人の性生活または性的指向に関する情報

EU域外では、Eyeotaは、推測上の政治的意見に関するデータを一部のデータプロバイダーから受け取ります。

特定の法域では、Eyeotaは、プラットフォームを介したターゲティング広告に関連して使用するために、政治的または経済的利益に関連する非機密データを受け取ります。

Eyeotaは、アルコール、タバコ、銃器などの成人向けの製品やサービスに関連するデータを収集しません。

当社の年齢データポリシーに関する情報については、本ポリシーの「児童データの保護」セクションの4を参照してください。以下のEUデータ主体の人格権。

Eyeotaプラットフォームデータは何に使用されますか？

Eyeotaのプラットフォームは、メーカーやブランドが自社の広告を好む可能性のあるオーディエンスを発見できるように設計されています。このプラットフォームは、広告主が既存の顧客や希望のオーディエンスに似た特徴、好み、興味を持つ新しいオーディエンスを発見するのに役立ちます。Eyeotaのプラットフォームデータは、以下のようなさまざまなグループに有用です。

1. インターネットユーザーは、プラットフォームが提供するサービスにより、より関連性の高いオンライン広告を体験できるようになります。さらに、本プラットフォームの運営は、多くのオンラインパブリッシャーがユーザーに無料でコンテンツを提供する、広告資金によるインターネットのサポートにつながります。Eyeotaはすべてのプラットフォームデータを匿名化された形式で保有し、氏名、住所、メールアドレス、電話番号、社会保障番号など、特定の個人を特定できるデータは含めません。
2. オンライン広告主とその広告代理店、DSP、SSP、DMP、CDPなどのアドテクパートナーは、本プラットフォームを使用することで、関連性の高いオンラインオーディエンスに広告を

配信したり、自社の製品やサービスを好む新たな潜在顧客を発見したり、広告キャンペーンの効率を高めたりすることができます。また、オンライン広告主は、Eyeotaのプラットフォームを使用して、顧客や広告キャンペーンの受信者をよりよく理解することもできるようになります。たとえば、美容メーカーはEyeotaデータを使用して、既存のオーディエンスベースと同様の興味や好みを持つ、新しいオーディエンスを発見できるかもしれません。その場合、新しく集計されたオーディエンスは美容メーカーの既存顧客に類似しているため、新しいオーディエンスに広告を表示することで、その興味を引く可能性が高まります。

3. オンラインデータプロバイダー

- Eyeotaプラットフォームへのデータプロバイダーは、オーディエンスについてのインサイトが深まり、商業上の意思決定における情報量を増やして、コンテンツの価値や自社のオンラインプロパティでの広告を向上させるのに役立つため、プラットフォームが有用であると感じています。たとえば、自動車業界のパブリッシャーは、プラットフォームを通じて、これらのオーディエンスが外食やフィットネスにも関心があることを発見するかもしれません。こうしたインサイトは、パブリッシャーがウェブサイトにもどどのような広告を掲載するか、またはオーディエンス向けにどのような追加コンテンツを作成するかを決定するのに役立つでしょう。
- また、データプロバイダーは、集計された匿名化データを広告主に販売し、広告キャンペーンに関しより適切な情報を提供することもできます(上記1を参照)。こうしたデータは、Eyeotaプラットフォームで、「オーガニック食品を好む男性」といったように、興味関心、嗜好、関連性のグループごとに集計され、同様の嗜好を持つ人々をターゲットとする広告主にこの形式で販売することができます。データの販売から得られる収益は、オンラインデータプロバイダーに提供されます。オンラインプロパティ上のコンテンツやサービスは、その多くが

インターネットユーザーに無料で提供されていますが、オンラインデータプロバイダーは一般に、こうした資金によってその制作をサポートしています。

4. **市場調査機関やその他のオフラインデータプロバイダーは、従来型のオフラインマーケティングキャンペーン**
(ダイレクトメール、印刷媒体、屋外広告、テレビやラジオによる広告など)
に顧客データおよび調査データを使用します。このようなオフラインデータプロバイダーは、広告クライアントが広告キャンペーンのために新しいオーディエンスを発見する際に、匿名化されたデータをオンライン環境に移して、興味関心や嗜好に関する情報を利用できるため、本プラットフォームが有用であると考えています。

広告が匿名化されたプロフィール情報に基づいて表示される場合がある、この種の興味関心連動型オンライン広告への参加は、本ポリシーの「オプトアウト」の項で随時オプトアウトできます。

本プラットフォームは、シンガポールの登記会社であるEyeota Pte Ltd (会社登記番号201223893Z、登記住所は以下の通り)によって運営されています。

Eyeota Pte Ltd

31 Hong Kong Street

#03-01

059670

Singapore

Eyeotaのプラットフォームデータ収集方法とは？

当社は、Cookie、モバイル広告ID、ハッシュ化されたメールアドレス、ピクセルタグ、サーバー間接続、パートナーとの安全なデータ転送などのオンライン技術を活用して、プラットフォームデータを収集および保存します。当社は「フラッシュCookie」やその他の埋め込み追跡メカニズムを使用しません。

Eyeotaプラットフォーム内でのEyeotaによるCookieの使用方法とは？

Eyeotaのプラットフォームでは、興味関心に基づく広告と分析を目的に、個々のブラウザを認識し、Cookie IDを照合するデータを保存するため、Cookieおよび同様の追跡技術を利用しています。また、本プラットフォームでは、Cookieを使用してユーザーのオプトアウト設定を保存します。

Eyeotaは同意シグナルやオプトアウトシグナルから収集したデータを処理しますか？

はい。EUなどでは、EyeotaはIABの「透明性と同意のフレームワーク」内に登録されたグローバルベンダーであることが義務付けられています (IABベンダーID : 120)。これにより、市場向けのさまざまな同意管理プラットフォーム (CMP) を通じてベンダーリストと同意権がプッシュされます。当社はこのフレームワークを使用して、データをオフラインソースと照合するとともに、デバイス上の情報の保存および/またはアクセス、パーソナライズされた広告プロファイルの作成、パーソナライズされたコンテンツプロファイルの作成、オーディエンスに関するインサイトを生み出すための市場調査の適用、製品の開発および改善を目的として、データパートナーからの同意シグナルを収集・管理します。法律で義務付けられている場合、EyeotaはDo Not Trackおよび同様のオプトアウト設定シグナルを尊重します。

また、当社のプラットフォームは、IABの「透明性と同意のフレームワーク」外で運営されているCMPからの同意ベースのデータセットも受け入れます。

Eyeotaは正当な利益に基づいて収集されたデータも受け入れますか？

いいえ。2020年3月25日現在、EyeotaはEU/EEAからの同意に基づくデータのみを受け入れ、処理しています。

EyeotaがEEA内でプラットフォームデータを収集および処理する法的根拠とは？

プラットフォームを介して処理されるEUデータ主体からのデータについては、EyeotaはGDPRの同意条項に基づいて事業を行っています。

Eyeotaがやり取りするデータで、GDPRの下で個人データとして直接分類されるのは、IPアドレス、ハッシュ化されたメールアドレス、Cookie IDのみです。ただし、すべてのプロフィール情報はCookie IDなどの匿名個人データに添付されるため、すべてのプロフィール情報も個人データとみなされます。

Eyeotaがお客様のデータを処理する場合、お客様はCookieの受け入れか、当社パートナーのデータプロバイダーからのデータの処理に同意している場合があります。そのため、当社は同意に基づいて収集・提供されたデータの処理も見込んでいます。

例えば、Eyeotaは、ターゲティング広告に関連する個人情報の処理について、ユーザーが同意したか、または反対しなかったことを確認し、証明できるようにする目的で、TCストリングを処理する場合があります。

欧州経済領域におけるデータの収集と処理に関するEyeotaの法的根拠について、さらにご不明な点がある場合は、[こちら](#)からお問い合わせください。

Eyeotaによるプラットフォームデータの保存期間は？

- Eyeotaは、集計された情報をターゲット広告に利用できる日数を、120日に制限しています。
- すべてのユーザーレベルのデータは6カ月後に削除されます。
- Eyeotaが6カ月以上保持する唯一のデータは、集計形式であり、統計データモデリングと分析をサポートするためのものです

(例：2015年12月に英国のEyeotaプラットフォームでアクティブだった男性のプロフィールの件数)。こうしたレポートは、事業の進展を把握し、商業分析を行い、ビジネス上の意思決定を行うために無期限に保持されます。ただし、レポート内の情報が実際の個人を特定するために使用されることがないよう、当社では細心の注意を払っています。

第三者と共有されるプラットフォームデータ情報は？

Eyeotaは、マーケティング担当者、広告主、オンラインパブリッシャーにオンライン広告サービスを提供するパートナーとプラットフォームデ

ータを共有します。また、当該データをマーケティング担当者、広告主、オンラインパブリッシャーと直接共有する場合があります。Eyeotaから直接プラットフォームデータを受け取る代表的なパートナーについては、[こちら](#)のEyeotaの統合パートナーリストをご覧ください。パートナーは随時変更される可能性があるため、当社ではこのリストを定期的に更新するよう努めています。カリフォルニア州法では、Eyeotaは過去12カ月間に、これらの各パートナーおよび広告主の顧客の一部にプラットフォームデータを販売したものとされます。

レポート作成もEyeotaの事業に不可欠な要素です。当社のクライアントとデータプロバイダーは、契約に基づき、パフォーマンスの追跡、請求、監査のために定期的な運用レポートを受け取ります。また当社は、特定のセグメントに表示されるデータ主体の数など、集計データの人気や使用状況に関してインサイトを提供するレポートも生成します。このレポートは、集計されたプラットフォームデータを使用して作成され、匿名化されたデータのみが含まれます。

集計されたプラットフォームデータは、権限のある従業員、独立請負業者、コンサルタント、子会社と共有される場合があります。ユーザーレベルのプラットフォームデータは、業務遂行にアクセスを必要とする技術チームの常勤従業員のみが、アクセス制限下で、当社のデータ最小化ポリシー

(データ主体またはユーザーの個人の権利を保護し、従業員がユーザーレベルデータに関する義務を確実に理解できるように設計されたEyeota企業ポリシー)に従って利用できます。

当社はまた、クラウドデータの保存、分析、処理施設として、また運用サービスやその他のサポートサービスを提供する、第三者サービスプロバイダーのサービスを利用する場合があります。Eyeotaが利用するその他の第三者サービスプロバイダーには以下が含まれます。a)

クラウドコンピュータ、データストレージおよびファイルストレージプロバイダー、b) メールマーケティングプロバイダー、c)

ウェブサイトおよびB2B販売分析プロバイダー、d)

顧客関係管理、連絡先データベースベンダー、データ衛生ベンダー、調査ベンダー、プロジェクト管理ソフトウェアプロバイダー、e)

顧客請求システムパートナー、f)

当社システムへのログインの効率的な機能を徹底するための、ログイン認証プロバイダー、g)

広告およびマーケティング目的のソーシャルメディアプラットフォーム、h)

当社システムの適切な動作を徹底するための、外部委託コンピュータプログラマー、i)

監査、デバッグ、セキュリティベンダー。データの共有は、以上の事業体がEyeotaの事業に関連して専門的および技術的な機能を実行できるようにする目的でのみ行われます。これらの事業体は機密保持の制限を受け、Eyeotaにサービスを提供する以外の目的で当社から受け取った情報を使用、アクセス、または変換することは許可されていません。

当社は、法律で許可または義務付けられている場合、プラットフォームデータと情報を規制当局、政府機関、法執行機関と共有するよう求められる場合があります。当社はまた、当社の法的権利、知的および物理的財産、従業員およびサービスプロバイダー、ビジネスパートナーおよびそのオンラインユーザーの安全とセキュリティを擁護または保護し、また、不正利用から当社を保護するために、データおよび情報を共有する場合があります。

最後に、当社が売却、買収、譲渡、合併された場合、破産を申請した場合、債務の借り換えを受けた場合、何らかの組織再編を行った場合、または事業取引の一環として当社の管理下にある資産を第三者に譲渡する必要があるその他の事業取引を行った場合、当社はプラットフォームデータおよび情報資産の一部または全部を共有することがあります。

ビジネスデータ

ビジネスデータ

当社のコーポレートサイト (www.eyyota.com)

は、ビジネスパートナー、Eyeotaに関する情報をお探しの方、新入社員の採用活動などのために作成されています。Eyeotaは、請求、アカウント管理、その他の顧客サービス、現在および将来の顧客へのマーケティング、採用、一般的な問い合わせへの対応などのビジネス目的で、また、ウェブサイト分析、当社ウェブサイトでの悪意のある行為の検出と防止、当社ウェブサイトのコンテンツの改善と整理などのため、顧客からパートナーと顧客のデータを、コーポレートウェブサイト (www.eyyota.com)

からウェブサイトとマーケティングデータを収集します。以上のデータセットは総称して「ビジネスデータ」と言われています。

カリフォルニア州消費者プライバシー法 (以下「CCPA」) などの特定の米国の州法では、データ主体に個人情報の販売や共有をオプトアウトする権利を付与しています。Eyeotaは、当社のウェブサイトを通じて、または当社の販売・マーケティング活動に従って収集された、識別可能な個人情報 (電子メール、電話番号など) を販売することはありません。ただし、当社のマーケティングチームは、参加者リストの共有を伴う可能性のあるイベントを他社と共同で宣伝することがあり、こうした参加者リストの企業間での共有が、販売に該当する場合があります。当社はまた、当社のウェブサイトを経営する第三者が、当社ウェブサイトへの訪問者から匿名データを収集するピクセルおよび/またはCookieを保存できるようにしています。これは、カリフォルニア州をはじめとする場所で、個人情報の販売とみなされる場合があります。こうした匿名データは、匿名ID、IPアドレス、および同様の情報を含み、マーケティングおよび広告の目的で使用されます。当社は、お客様が当社ウェブサイト初めてアクセスした際に、以上の慣行について通知し、法律で義務付けられている適切な選択メカニズムを提供します。Cookieの使用は、ブラウザの設定で制御できます。Cookieポリシーに記載されているとおり、Eyeotaによるこの情報の販売や共有をオプトアウトすることもできます。

ビジネスデータは、以下のように当社ウェブサイトから収集されます。

- Eyeotaウェブサイト固有のCookieの使用を含む、当社ウェブサイトとのブラウザインタラクション。
- ウェブサイトの「お問い合わせ」セクションで収集された個人データ。
- 当社の「データデスク」サービスの提供に関連する現在および将来の顧客データ。
- ビジネスデータは、展示会、ネットワーキング、ビジネスミーティングなどのビジネス活動中にも自発的に提供されることがあります。ビジネスデータには、氏名、メールアドレス、勤務先などの個人情報のほか、Cookie IDやIPアドレスなどの匿名の個人オンライン識別子が含まれる場合があります。

当該ビジネスデータを収集する理由とは？

ビジネスデータは、マーケティング、顧客とのコミュニケーション、一般的な問い合わせへの対応、当社サービスの提供、および採用の目的でのみ使用されます。Cookieを使用して収集されるビジネスデータには、個人を直接特定できるデータは一切含まれておらず、このデータの目的は、ウェブサイト分析、当社ウェブサイト上の悪意のある行為の検出と防止、当社ウェブサイトのコンテンツの改善と整理を可能にすることです。ビジネスデータは、当社のプラットフォームデータと使用または組み合わされることはなく、本プライバシーポリシーに記載されているプラットフォームの目的のために使用されることもありません。

ビジネスデータは共有されますか？

ビジネスデータは、本ポリシーに記載されている目的を除き、第三者と共有されることはありません。当社は、本ポリシーに記載の目的に関連するサービスを当社に代わって実施するために、権限を付与された従業員、関連会社、子会社、ベンダー、またはその他の第三者(当社の顧客関係管理(CRM)システムプロバイダーなど)とビジネスデータを共有する場合があります。

当社は、法律によりそうすることが合理的に義務付けられていると判断した場合や、詐欺や人身の安全に対する潜在的な脅威を伴う状況を含むがこれらに限定されない、疑わしいまたは実際の禁止行為に関する調査、防止、措置を講じるために、ビジネスデータを第三者に開示することがあります。

当社は、企業合併、統合、資産の売却、破産、債務の借り換え、その他の企業レベルでの変更に関連して、プラットフォームデータおよびビジネスデータを含む、当社が保有するあらゆるデータを後継事業体に譲渡することがあります。

ビジネスデータの保存期間は？

当社は、別段の定めがなく、パートナーとの継続的な関係がある限り、またはデータ主体からの要求に従って削除されるまで、ビジネスデータを保持します。ビジネスデータは、適用法に基づいてその保存が義務付けられている場合を除き、最後のやり取りから13カ月後に削除されます。

。

ビジネスデータは他国に転送されますか？

Eyeotaは世界中に従業員を抱えており、グローバルCRMシステムを利用しているため、ビジネスデータは他国に転送されます。

2018年5月25日以降、欧州連合 (EU)

または英国から欧州連合以外の国にデータを転送する場合は、EU/英国が承認したモデル契約条項を使用して転送します。

Eyeotaがプラットフォームデータを収集・処理する法的根拠とは？

ビジネスデータを処理する法的根拠は、契約上の必要性です。また、当社は、事業の拡大、管理、運営における正当な利益に基づいて、販売およびマーケティングを目的としてデータを処理します。当社は、www.eyecota.comの登録フォームでビジネスデータを収集する際に同意を得ます。

オプトアウト情報

プラットフォームデータ

オプトアウト方法：Cookieに記録されたデスクトップ/ブラウザでの選択

Eyeotaは、本プラットフォーム上でのデータ処理方法に関するお客様の選択を尊重します。法域が異なれば、提供される権利も異なります。たとえば、EUのデータ主体は、特定の形式のデータ処理に異議を唱えたり、そのような処理に対する同意を撤回したりする権利を有します。カリフォルニア州のデータ主体は、Eyeotaによるプラットフォームデータの販売からオプトアウトする権利を有します。米国のその他の地域とその他の多くの場所のデータ主体は、さまざまな形式の広告ターゲティングからオプトアウトする権利を有します。

[選択メカニズム：Eyeotaのプラットフォームからのオプトアウト](#)

Eyeotaの選択メカニズムをクリックすると、Eyeotaはお客様のブラウザに非固有Cookieを保存しようとしています。このCookieはそのブラウザへの広告のターゲティングを停止し、そのブラウザに関するデータの処理を停止するよう、システムに指示します。カリフォルニア州のデータ主体の場合、非固有オプトアウトCookieがあるということは、当社がプラッ

トフォームデータの販売を停止することを意味します。なお、オンライン広告は引き続き表示されますが、これらの広告はお客様の興味関心に基づいておらず、関連性が低くなるおそれがあるため、ご注意ください。

ブラウザでオプトアウトするその他の方法

ユーザーは、以下の特定の広告業界団体が運営するいずれかの方法によっても、Eyeotaのプラットフォームデータ収集に関する選択を行うことができます。

- 米国のユーザーは、[こちら](#)からNetwork Advertising Initiativeのサイト、または[こちら](#)からDigital Advertising Allianceのサイトをご覧ください。
- カナダのユーザーは、[こちら](#)からDigital Advertising Alliance of Canada (カナダ・デジタル広告アライアンス)のサイトをご覧ください。
- 欧州のユーザーは、[こちら](#)からEuropean Digital Advertising Alliance (欧州デジタル広告アライアンス)のサイトをご覧ください。
- その他の国のユーザーは、[こちら](#)からYourAdChoicesサイトをご覧ください。

なお、すべてのサードパーティCookieの使用をブロック、削除、および/または制御するようにブラウザの設定を変更すると、ブラウザにオプトアウトCookieを保存するEyeotaの機能に悪影響を及ぼすおそれがあるため、ご注意ください。また、別のパソコンやデバイスを使用する場合は、選択を更新しなければならない場合があります。

EU、英国、スイスのデータ主体に関する注記：データ主体がEEA/英国/スイスにおり、ブラウザにEyeotaオプトアウトCookieがあることが合理的に確認できる場合、Cookieはそのブラウザに関するデータ処理を停止するようシステムに指示します。

ブラウザの設定から直接Cookieの使用を管理するための詳細については、ウェブブラウザのヘルプドキュメントを参照してください。

Eyeotaの選択Cookieの有効期間は、オプトアウトCookieがユーザーのブラウザから削除されない場合、5年間です。

モバイルデバイスでのオプトアウト方法：

当社は、AndroidおよびApple iOSデバイスのモバイルデバイス設定を尊重します。このオプトアウトを実行するには、AndroidまたはiOSデバイスのプライバシー設定にアクセスし、「[パーソナライズされた広告](#)」をオフにする (Apple iOS) か、「[広告のパーソナライズをオプトアウトする](#)」 (Android) を選択します。当社がそうした選択が行われたことを確認できるデバイスの場合、システムはそのデバイスへの広告のターゲティングを停止し、そのデバイスに関するデータの処理を停止します。なお、オンライン広告は引き続き表示されますが、これらの広告はお客様の興味関心に基づいておらず、関連性が低くなるおそれがあるため、ご注意ください。

NAIでは、ほとんどの主要なモバイルオペレーティングシステムのオプトアウト

プロセスの概要を説明した、[役に立つガイド](#)を提供しています。また、Digital Advertising Alliance (DAA) が提供するAppChoicesアプリをインストールすることで、特定の企業によるモバイルデバイス識別子の処理を拒否または取り消すこともできます。AppChoicesを使用している企業と、お使いのモバイルプラットフォームでAppChoicesアプリをダウンロードして設定する方法の[詳細](#)については、こちらをご覧ください。

スマートTVでのオプトアウト方法：

当社は、Eyeotaデータをプロファイリングやターゲット広告に使用できるようにする主要なスマートTVプラットフォームのプライバシー設定を尊重します。このオプトアウトを実行するには、CTV/OTTデバイスのプライバシー設定をご覧ください。当社がそうした選択が行われたことを確認できるデバイスの場合、システムはそのデバイスへの広告のターゲティングを停止し、そのデバイスに関するデータの処理を停止します。

Network Advertising Initiative (NAI)

は、主要なCTV/OTTシステムのほとんどについて、オプトアウトプロセスの概要を説明した、[役に立つガイド](#)を提供しています。

ハッシュ化されたメール：オプトアウト情報

前述の通り、Eyeotaは特定のブラウザやデバイスを認識できるようにするための匿名UIDを作成するために、ハッシュ化されたメールアドレスを使用することがあります。電子メールがハッシュ化されると、個人を特定できる個人データが削除されるため、ハッシュ化されたデータセットから直接お客様を特定することはできなくなります。 [Network Advertising Initiative](#) (NAI)

では、このアクティビティをオプトアウトできる、電子メールベースのオプトアウトを提供しています。Eyeotaによりハッシュ化されたメールの使用をオプトアウトするための[詳細情報](#)と手順については、NAIのウェブサイトをご覧ください。オプトアウトは[こちら](#)から行えます。この方法でオプトアウトすると、Eyeotaはプラットフォームでそのメールアドレスの使用を停止します。

ビジネスデータ：オプトアウト情報

お客様は、当社のマーケティングリストおよびデータベースから随時オプトアウトする権利を有します。以前に当社ウェブサイト経由でEyeotaに提供された情報を更新または変更したい場合は、[こちら](#)から情報更新リクエストを送信してください。同じフォームを使用して、以前に送信された情報の削除を要求することもできます。

[Eyeota Marketingの配信停止](#)

お客様の連絡先情報がデータベースから削除されるまでには、最大72時間かかりますので、ご了承ください。なお、お客様がオプトアウトすることを決定した場合でも、お客様またはお客様の企業が製品やサービスの提供に関してEyeotaと契約を締結している場合、当社はこれらのサービスに関して電子メールを送信し、当社の契約上の義務をサポートする必要がある場合があるため、ご注意ください。

主体アクセスリクエスト

当社がお客様に関して保有するプラットフォームおよび/またはビジネスデータのコピーを受け取るには、「主体アクセスリクエスト」フォームに記入してください。このフォームを使用すると、以下の追加オプションをリクエストすることもできます。

- Eyeotaによるお客様のデータの更新

- Eyeotaによるお客様のデータの全記録の削除
- Eyeotaからのメール配信のオプトアウト
- 一般的なお問い合わせ
- 苦情の申立て

このフォームで提供された情報は、お客様がリクエストしているプラットフォームおよび/またはビジネスデータを特定し、リクエストに対応するためにのみ使用されます。「主体アクセスリクエスト」フォームの送信後、当社はリクエストの受信後72時間以内にご連絡を差し上げるよう努めます。Eyeotaでは、リクエストの処理に30日かかります。何とぞご了承ください。

データに関するご質問やお問い合わせは、Eyeota (privacy@eyeota.com) までメールを送信していただくこともできます。EU/英国、スイス、カリフォルニア州のデータ主体には、以下に説明する追加のプライバシー権が与えられます。

[主体アクセスリクエストを送信](#)

米国における個人の権利

米国における特定のデータ主体の人格権

特定の米国内に居住するユーザーカリフォルニア州、コロラド州、コネチカット州、バージニア州、ユタ州などの州には、適用法に基づき、以下のような特定の権利が与えられています。a)お客様、お客様のコンピュータまたはデバイスに関して当社がどのようなデータを保有しているかを確認する権利(つまり、知る権利)、b)お客様、お客様のコンピュータまたはデバイスに関して当社が保有するデータを削除する権利(つまり、削除する権利)、c)お客様、お客様のコンピュータまたはデバイスに関して当社が保有する特定のデータを修正する権利、およびd)プロファイリング、ターゲットを絞った広告、および/または特定の第三者に対するお客様、お客様のコンピュータまたはデバイスに関するデータの販売/共有をオプトアウトする権利(つまり、お客様の情報の販売/共有をオプトアウトする権利)。お客様が上記の権利のいずれかを行使する場合でも、当社はお客様を差別することはありません。また、特定の権利を尊重することで適用法に違反することになる場合、当社はその権利を尊重しない

ことがあります。特定の州 (コロラド州やバージニア州など) では、Eyeotaが1つ以上の権利を尊重した際、その方法に同意できないお客様には上訴する権利が与えられており、お客様は州の検事当局にさらに上訴できる場合があります。

Eyeotaに関する上記の権利にアクセスするには、[主体アクセスリクエストページ](#)にアクセスするか、以下のフリーダイヤルまで電話でお問い合わせください。1-866-I-OPT-OUT

(Eyeotaサービスコード：714)上記の権利が与えられる場所に居住するデータ主体として、本ポリシーの規定に従い主体アクセスリクエストを行ったお客様は、当社が保有するお客様に関する個人情報を開覧および削除する権利を有します。

CCPAに基づく2023年閲覧要求件数

(Eyeotaの受領件数、全体または一部の集計件数、拒否件数の順)：33、33、0。

CCPAに基づく2023年削除要求件数

(Eyeotaの受領件数、全体または一部の集計件数、拒否件数の順)：311、311、0。

CCPAに基づく2023年オプトアウト要求件数

(Eyeotaの受領件数、全体または一部の集計件数、拒否件数の順)：2,004,133、2,004,133、0。

2023年にEyeotaが閲覧要求および削除要求に実質的に対応するまでの日数の中央値：30、30、0 [こちら](#)でオプトアウト要求を行うと、即座に反映されます。

CCPAおよびその他の米国のプライバシー法では、個人情報が広義であるため、Cookie

IDやモバイル広告IDなどの匿名識別子が含まれます。注記：CCPAに基づき当社が処理するデータの 카테고리には、以下が含まれます：(a) IPアドレス、モバイル広告IDおよび類似の匿名UIDなどの個人識別子およびオンライン識別子、および (b)

インターネットまたはその他の電子ネットワークアクティビティ情報（閲覧履歴およびインターネットウェブサイトアプリケーションや広告とのインタラクションに関する消費者情報を含みますが、これらに限定されません）。

CCPAでは、当社が保有するお客様の個人情報の閲覧要求に以下を含められる場合があります。(1)

当社がお客様について保有する可能性のある特定の個人情報。(2)

当社がお客様について収集した個人情報のカテゴリー。(3)

個人情報が収集される情報源のカテゴリー。(4)

当社がビジネス目的で販売または開示したお客様に関する個人情報のカテゴリー。(5)

CCPAに基づいてビジネス目的で個人情報が販売または開示された第三者のカテゴリー。(6)

個人情報を収集・販売するビジネス上または商業上の目的。

当社は、お客様の要求を確認するために合理的な措置を講じる場合があります。当社は、適用法で禁止されていない限り、および/または、その情報が請求、詐欺防止、セキュリティのために当社にとって必須ではない限り、確認できる要求にご対応します。お客様の要求に応じられない場合、当社はお断りする理由をお知らせします。

EU、英国、スイスのデータ主体の個人的権利

欧州経済領域 (EEA)、スイス、英国に所在するユーザーには、適用法 (EUデータ主体に対するGDPR第3章など)

に基づいて、特定の権利が与えられます。英国とスイスも同様の保護を提供しています。こうした権利には、以下が含まれます。

- 自分のデータのコピーを要求し、アクセスする権利
- データの消去を要請する権利
- データが不正確な場合に修正を要請する権利
- 以前に与えた同意を撤回する権利
- データの処理を制限または反対する権利
- データを他の組織に転送するためのデータポータビリティの権利
- ヨーロッパのEyeotaの監督当局に苦情を申し立てる権利

上記1の個人的権利について

データのコピーの受け取りをご希望の場合は、主体アクセスリクエストを[こちら](#)から送信してください。

ビジネスデータまたはプラットフォームデータは他国に移転されますか？

はい。Eyeotaは通常、以下のようなさまざまな目的で、本国外にデータを移転します。

- ユーザーエクスペリエンスとデータバックアップを向上させるためにデータを国際データセンターに保存
- テクノロジー プラットフォーム パートナー (その多くは国際組織) にデータを提供
- 当社が所有および運営するサーバーでのデータの処理および分析

当社が欧州連合 (EU)

と欧州連合以外の国との間で個人データを移転する場合、契約に基づき、EUが承認した標準モデル契約条項を使用して移転します。

収集したデータの保護方法は？

Eyeotaは、当社が保有するプラットフォームデータおよびその他の情報を不正アクセス、使用、改変、開示、破壊から保護するために、適切なセキュリティ対策を講じています。当社のセキュリティ対策には、データや情報の不正使用を防ぐための物理的セキュリティ、適切な暗号化、アクセス制限が含まれます。

当社は、当社が管理するデータを保護するためにあらゆる予防措置を講じていますが、どんなに徹底したセキュリティ対策も完璧ではなく、完全に安全であることを保証することもできません。したがって、当社はプラットフォームデータやその他の情報の絶対的なセキュリティを確保または保証することはできません。特に、当社は、プラットフォームデータや情報が偶発的な状況や他者の不正行為によって開示、改変、アクセス、または破壊されないことを保証することはできません。

お子様のデータの保護

EU内では、Eyeotaは16歳未満のユーザーの年齢データを収集せず、16歳未満のユーザーを対象としたデジタルプロパティを運営していません

。Eyeotaは、COPPA規制および米国内諸州の同様の児童プライバシー法に準拠しています。EU圏外では、16歳未満のユーザーの年齢データは収集されません。

ご質問

ご質問

[本ポリシーに関するご質問、コメント、懸念事項、苦情は、こちらから](#)お問い合わせいただくか、下記の住所まで書面でご連絡ください。

Eyeota Pte Ltd, 12a Upper Circular Road, 058410, Singapore,
Attention:Privacy Team

データ保護責任者

ePrivacy GmbH

代表者：Prof. Dr.Christoph Bauer

Große Bleichen 21
20354 Hamburg
Germany
dpo@eprivacy.eu

EU代理人

ePrivacy Holding GmbH

Große Bleichen 21
20354 Hamburg
Germany
eu.rep@eprivacy.eu

英国代理人

199 Bishopsgate
London EC2A 2EX
United Kingdom

業界の自主規制

Eyeotaは業界の自主規制を支持し、業界と本プラットフォームに適用されるベストプラクティスと自主規制要件を支持し、当社のビジネスプロセスをそれに沿ったものに行っています。

- 米国では、EyeotaはNetwork Advertising Initiative (NAI) の優良メンバーであり、[Digital Advertising Alliance](#)の行動規範を遵守しています。
- Eyeotaは、複数の国でInteractive Advertising Bureau (インタラクティブ・アドバタイジング・ビューロー、IAB) の優良メンバーであり、[IABの行動規範](#)を遵守しています。

ヨーロッパでは、EyeotaはEuropean Interactive Digital Advertising Alliance (EDAA) の認定メンバーであり、オンライン行動ターゲティング広告に関するEDAA自主規制原則を遵守しています。EDAAの詳細は、同同盟の[ウェブサイト](#)をご覧ください。

当社の関連するプライバシー団体協会

Eyeotaは、以下を含む多数のデータプライバシー団体と関係があります。

- European Interactive Digital Advertising Alliance (EDAA) 認定
- 欧州ePrivacyシール取得
- Your Online Choices加盟
- Interactive Advertising Bureau (IAB)のメンバーであり、IAB業界標準に準拠
- Network Advertising Initiative (NAI) メンバー
- Digital Advertising Alliance (DAA) メンバー
- Digital Advertising Alliance of Canada (DAAC) メンバー

本プライバシーポリシーの位置づけ

Eyeotaは、当社の慣行と法律を反映するために、本プライバシーポリシーを随時更新する権利を留保します。